



市消防本部
延岡市消防本部

日新興業 カネトミ

初期消火功労で感謝状

河川敷で発生した火災
の延焼を防いだとして、

延岡市消防本部（三星文

.....

初期消防功労の感謝状を

受けた（前列左から）日

新興業の山田さんと佐藤

さん、カネトミの甲斐さ

ん（後列左から）河野社

長と木村社長（延岡市消

防本部）

男消防長）は5日、同市

本小路の日新興業（河野

孝夫代表取締役）と古川

町の力ネトミ（木村忠徳

代表取締役）の建設会社

2社に感謝状を贈った。

延岡市古城町の大瀬川

河川敷で護岸工事と掘削

作業中の1月28日の午後

3時30分ごろ、火災を発

見した2社の社員が連携

して消火作業に当たり、

ことなきを得たという。

河川敷が燃えているの

を発見したのは、現場パ

トロール中だった日新興

業の山田誠吾さん（43）。

すぐに同僚の佐藤宗近さ

ん（49）とカネトミの甲

斐洋一さん（67）に連絡、

現場の業務用散水車を急

行させた。3人は散水車

から約2斗を放水、市消防署の消防隊が到着するまでに枯れ草が燃えるのを防いだという。

当時は強風注意報が発

表されており風が強く、

消防隊は「到着を待って

いれば多大な被害になっ

ていただろう」と振り

返った。

消防本部であった感謝

状贈呈式で三星消防長

は、「迅速、的確な判断で

延焼拡大を防ぐことがで

きた。会社の皆さんが防

火意識を持って啓発、教

育されているおかげ」と感謝した。

日新興業では毎月、テ

ーマを変えて防火訓練な

どに取り組んでおり、昨

年12月に消火訓練と散水

車の使用法をおさらいし

たばかりだったという。

感謝状を受け取った同

社の山田さんは「それほ

どのことをしたつもりは

ないが、訓練の成果が発

揮でき、改めてその大切

さを実感した」。佐藤さん

は「ちょっとしたこと

火事になるので、火の取り扱いには注意しなければと思った」。甲斐さんは「感謝状をいただき何も言葉はなく、ありがたい」と喜んだ。

また、河野社長は「消火に当たったのは現場にいる者として当たり前のことだが、訓練通りにできてよかった」。木村社長も「訓練のたまもの。貢献できてよかった」と振り返り、社員の活躍をたたえていた。